橋梁個別施設計画

令和7年3月 阪南市

目 次

1.橋梁長寿命化修繕計画の目的	•••••	2
2.対象施設		3
3.計画の期間		3
4.対策の優先順位の考え方		3
5.シナリオ決定の考え方		5
6.個別施設の状態等		7
7.対策内容と実施時期		8
8.対策費用		11
9.橋梁長寿命化修繕計画における効果		11
10.事業費(10か年)		12
11.今後の取り組み		13
12.意見を聴取した学識経験者等		14

阪南市橋梁個別施設計画

1. 長寿命化修繕計画の目的

阪南市では令和6年度現在、74橋の橋梁を管理しています。その内、建設から50年を超えるものは全体の41%を占める30橋あり、更に20年後には全体の85%を占める63橋が建設から50年を超えるものとなります。これらの橋梁は高齢化に伴い様々な損傷が見受けられ、適時に適切な修繕を行わなければ架替えや大規模な修繕が必要となり、膨大な費用負担や工事中の通行止めなど市民生活への影響が懸念されます。

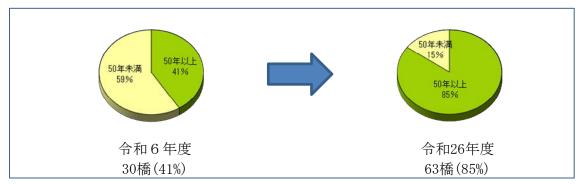


図1 橋梁の老化の進行

阪南市では、これまでも安全性を確保するために計画的に道路橋の維持管理を進めてまいりました。今後も下記の「阪南市橋梁維持管理の方針」に基づき、継続して維持管理を 実施します。

阪南市橋梁維持管理の方針

- 1. 阪南市が管理する全ての橋梁について、将来にわたって持続的に安全性を確保することで、ライフラインとしての信頼性を確保する。
- 2. 安全性を確保するため、定期点検・日常点検を確実に実施し、橋梁の劣化損傷を持続的に把握する。
- 3. 阪南市が管理する全ての橋梁について、維持管理トータルコストの縮減及び 予算の平準化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管 理を行う。
- 4. 阪南市地域防災計画や強靭化地域計画に基づき、救命救助活動や支援物資の 輸送を担う広域緊急交通路及び地域緊急交通路の通行機能を確保するため、 橋梁の修繕及び耐震化について強化を図る。

これまで阪南市では令和2年3月に策定した「阪南市橋梁長寿命化修繕計画」(以下「前計画」という。)に基づき橋梁の修繕工事を行ってきました。また、平成26年7月に道路法施行令の改正により義務付けられた近接目視点検も橋梁全てにおいて2巡目点検が完了しました。今後も市民のライフラインとして、橋梁の安全性を持続的に確保するため、最新の点検結果に基づき、「阪南市橋梁長寿命化修繕計画」(以下「更新計画」という。)の更新を行います。

2. 対象施設

74 橋

3. 計画の期間

50年間のシミュレーションを行い予防保全の効果を検証したうえで、10年間の対策内容、実施時期を計画する。

4. 対策の優先順位の考え方

対策費用の総額が計算年度の予算額を上回る場合は、優先度評価を行い、優先順位の 高い順に対策を実施する。優先度評価は大阪府の重点化指標をもとに、社会的影響度と 健全度の関係を決定する。橋梁ごとに健全度と社会的影響度を評価し、下表の順位に沿 って、施設の修繕(補修)を進める。

なお、修繕は優先度の判定をもとに行われるが、予算制約により順序が入れ替わることもある。

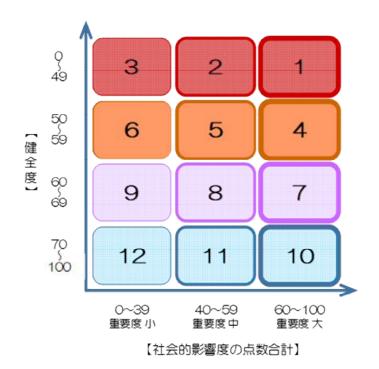


図2 橋梁の対策優先度

健全度及び社会的影響度の算出方法を次に示す。

【健全度の評価】

橋梁の健全度は、下表のように部材ごとの損傷評価点から算出する。 径間が複数ある場合は、径間ごとに算出された健全度の最小値を対象橋梁の健全度とする。

	部位	径間別評価	工種別	川評価	部材別	川評価		損傷
	可加	損傷評価点	補正係数	損傷評価点	補正係数	損傷評価点		損 厨
_	床版				0.80	8 🛨	_	床版ひびわれ [A:80%, C:20%]
上部	主部材		1.00	31	1.00	20 🗲	_	腐食 [B:90%, D:10%]
エ	二次部材			L	0.20	22 🛨	_	腐食 [B:50%, D:50%]
下部	躯体	38	0.60	3 \	0.67	5 -	_	ひびわれ [A:80%, C:23%]
工	基礎		0.60	, 1	1.00	0	_	損傷なし
支承	本体		0.40	12	1.00	8 🖊	_	腐食 [A:70%, C:30%]
部	モルタル	0.40		13	0.25	22	_	ひびわれ [C:100%]

[健全度 = 100 - 31 = 69]

図4 健全度の算出

【社会的影響度】

橋梁の社会的影響度は、前回の計画、地域特性を勘案し、大阪府都市基盤施設長寿命化計画(道路施設長寿命化計画)を参考に、利用者、防災、代替え性に着目し下表により評価を行う。

表1 総合的個別条件に基づく算出指標

着眼点	評価項目	評価内容	重み係数	配点
		L=15 m以上		100
	橋長	L=10 ~ 15m未満	0. 1	60
	倫文	L=5 ~ 10m未満	0.1	30
利用者		L=5m未満		0
利用有	壬 西 '	重要道路 (幹線道路)	0.1	100
	重要道路	非該当	0. 1	0
	ぶっ 四夕炉	該当	0.1	100
	バス路線	非該当	0. 1	0
		跨線橋・跨道橋(広域緊急跨ぎ)		100
	交通特性	跨道橋	0. 3	70
防災		上記以外		0
	IN 나타면 스 구 '조 ID	該当	0.0	100
	地域緊急交通路	非該当	0. 3	0
/ N. ±± 144.	江口服の土畑	無し	0.1	100
代替性	迂回路の有無	有り	0. 1	0
		合計		100
管	管理者判断	利用者・周辺住民への配慮等	合計100点を超えない 範囲で加点	+10~-10

5. シナリオ決定の考え方

(1)シナリオの概念 各シナリオのイメージを下図に示す。

シナリオ名	概要	イメージ
予防保全型	Cランク(Ⅱ)末期に達したら対策を行う (支承・伸縮装置はEランクで取替え)	日田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
事後保全型	Eランク(IV)に達した時点で対策を行う	B 3.0

図4 橋梁の対策優先度

(2) トータルコストの低減

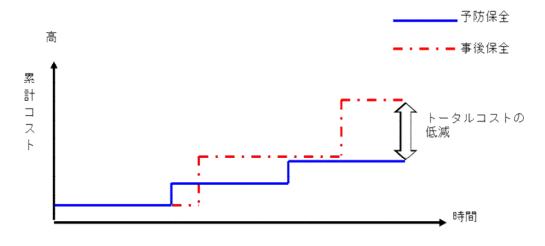


図5 橋梁の対策優先度

【対策の優先順位】

表2 対策優先順一覧表 (1/2)

	諸元				評価結果			点検時
橋梁名	所在地	橋梁の種類	路線名称	優先 順位	社会的 影響度	橋梁 健全度	評価値	法定 判定
西打合橋	阪南市鳥取中	鋼橋 I桁	東鳥取63号線	1	20.000	0.000	999.990	Ш
新衛橋	阪南市山中渓	鋼橋 H形鋼	東鳥取180号線	2	20.000	0.000	999.990	Ш
鳥居前橋	阪南市和泉鳥取		東鳥取130号線	3	10.000	0.000	999.990	Ш
池詰町田橋	阪南市鳥取	RC橋 RC床版橋	市道西鳥取27号線	4	3.000	0.000	999.990	Ш
光陽台歩道橋	阪南市光陽台	鋼橋 I桁	市道西鳥取135号線	5	27.000	27.093	0.997	П
山中橋	阪南市山中渓	RC橋 ラーメン橋	東鳥取24号線	6	16.000	34.057	0.470	I
	阪南市自然田	RC橋 アーチ橋	自然田石田線	7	20.000	45.142	0.443	I
向田1号橋	阪南市山中渓	鋼橋 I桁	東鳥取193号線	8	10.000	32.088	0.312	П
下滑石田橋	阪南市和泉鳥取	RC橋 RC T桁	東鳥取122号線	9	10.000	34.761	0.288	I
 山中橋	阪南市和泉鳥取		東鳥取128号線	10	10.000	43.617	0.229	I
	阪南市桃の木台		桃の木台73号線	11	31.000	53.311	0.581	I
明心寺橋	阪南市鳥取中	PC橋_ポステンT桁	東鳥取63号線	12	20.000	52.348	0.382	П
東鳥取9号橋	阪南市山中渓	RC橋_RC中実床版	東鳥取194号線	13	10.000	52.146	0.192	П
東打合橋	阪南市鳥取中	RC橋 その他	東鳥取67号線	14	10.000	53.089	0.188	I
八王子橋	阪南市山中渓		東鳥取194号線	15	6.000	53.260	0.113	I
東鳥取10号橋	阪南市山中渓		東鳥取194号線	16	0.000	58.102	0.002	П
明治橋	阪南市箱作	鋼橋 I桁	下荘53号線	17	6.000	67.934	0.088	I
東鳥取6号橋	阪南市自然田		東鳥取139号線	18	0.000	60.948	0.002	I
平成橋	阪南市箱作	PC橋_ポステンT桁	箱作駅前線	19	60.000	82.437	0.728	I
1号橋	阪南市石田	RC橋_RC中実床版	石田桑畑線	20	50.000	82,279	0.608	I
東鳥取12号橋	阪南市石田	PC橋_プレテン中空床版	東鳥取246号線	21	46.000	88.923	0.517	I
箱作駅前歩道橋	阪南市箱作	鋼橋 箱桁	下荘147号線	19	40.000	84.174	0.475	I
下川橋	阪南市桑畑		市道石田桑畑線	20	36.000	79.875	0.451	I
自然橋	阪南市自然田	RC橋 RC T桁		21	30.000	74.545	0.402	I
みずき橋		PC橋_ポステン中空床版	桃の木台専用自歩道東西線	23	31.000	90.976	0.341	Ш
2号橋	阪南市桑畑	RC橋 RC T桁	市道石田桑畑線	24	26.000	83.163	0.313	I
大口橋	阪南市鳥取中	PC橋_ポステンT桁	東鳥取68号線	25	20.000	77.927	0.257	I
金剛寺橋	阪南市貝掛	PC橋 ポステンT桁	市道貝掛丘陵線	26	20.000	79.822	0.251	П
さつき橋	阪南市さつき台	_	東鳥取222号線	28	20.000	87.257	0.229	I
8号橋		RC橋_RC床版橋	下荘132号線	29	16.000	71.159	0.225	I
<u>◎ </u>		鋼橋 I桁	東鳥取144号線	30	16.000	76.029	0.210	I
下荘11号橋	阪南市箱作	RC橋 RC T桁		32	13.000	72.408	0.180	I
		PC橋_プレテン中空床版	下荘27号線	33		92.833		I
万葉橋	阪南市箱作	PC橋_プレテン中空床版	下荘133号線	34	16.000	93.824	0.171	I
温泉口橋	阪南市自然田		東鳥取144号線	35	13.000	91.955	0.141	I
桐川橋			東鳥取144号線	36		93.380	0.139	I
西鳥取12号橋			西鳥取75号線	37	13.000	96.900	0.134	I
<u></u> 向田橋		PC橋_プレテンT桁	東鳥取195号線		10.000	75.866	0.132	I
下段橋		PC橋_ポステンT桁	東鳥取63号線	39	10.000	80.964	0.124	I
久保田橋		PC橋_ポステンT桁	東鳥取109号線		10.000	82.019	0.122	I
<u> </u>	阪南市自然田	鋼橋 I桁	東鳥取109号線	41	10.000	83.467	0.120	I
平野橋	阪南市鳥取中	RC橋 RC T桁		42	10.000	83.778	0.119	Ш
<u>ーカル</u> 塔の上橋	阪南市箱作	鋼橋 I桁	下荘61号線	43	10.000	85.486	0.117	I
尾崎6号橋	阪南市尾崎		尾崎61号線	44		88.733	0.117	I
宗福寺橋	阪南市箱作	鋼橋 I桁	下荘51号線	45		92.787	0.108	I
茶屋橋	阪南市箱作	PC橋_プレテン中空床版	下荘24号線	46		92.833	0.108	I
ハイエコロ	INVITATION OF THE		・コエム・・ラ 中外		10.000	72.033	0.100	-

表2 対策優先順一覧表 (2/2)

	諸元				評価結果	Ļ		点検時
橋梁名	管理機関	橋梁の種類	路線名称	優先 順位	社会的 影響度	橋梁 健全度	評価値	法定 判定
山中川橋	阪南市自然田	鋼橋_H形鋼	東鳥取258号	47	10.000	95.420	0.105	I
善太夫橋	阪南市箱作	鋼橋_I桁	下荘135号線	48	10.000	96.403	0.104	I
飯ノ峰川橋	阪南市箱作	PC橋_プレテン中空床版	下荘29号線	49	6.000	71.238	0.084	I
上茶屋川橋	阪南市箱作	PC橋_プレテン床版	下荘133号線	50	6.000	89.831	0.067	I
下莊8号橋	阪南市箱作	鋼橋_I桁	下荘52号線	51	6.000	92.424	0.065	I
4号橋	阪南市貝掛	鋼橋_I桁	市道石田箱作線	52	6.000	94.774	0.063	I
3号橋	阪南市自然田	RC橋_RC中実床版	東鳥取258号線	53	3.000	71.888	0.042	I
防潮水門橋	阪南市鳥取	11-2	市道西鳥取57号線	54	3.000	80.695	0.037	I
遊来橋	阪南市箱作	RC橋_RC T桁	下荘72号線	55	3.000	82.037	0.037	I
下莊5号橋	阪南市箱作	RC橋_RC中実床版	下荘25号線	56	3.000	86.099	0.035	I
下莊2号橋	阪南市貝掛	鋼橋_H形鋼	市道下荘1号線	57	3.000	94.574	0.032	I
西鳥取7号橋	阪南市鳥取	RC橋_RC溝橋	市道西鳥取29号線	58	0.000	71.414	0.001	I
尾崎4号橋	阪南市尾崎	RC橋_RC中実床版	尾崎35号線	59	0.000	72.521	0.001	I
西鳥取9号橋	阪南市鳥取	RC橋_RC中実床版	市道西鳥取49号線	60	0.000	73.422	0.001	I
下荘1号橋	阪南市貝掛	RC橋_RC T桁	市道下荘1号線	61	0.000	75.101	0.001	I
10号橋	阪南市石田	RC橋_RC中実床版	市道東鳥取215号線	62	0.000	78.408	0.001	I
西鳥取13号橋	阪南市石田	RC橋_RC溝橋	市道西鳥取85号線	63	0.000	80.089	0.001	I
東鳥取2号橋	阪南市下出	RC橋_RC溝橋	東鳥取18号線	64	0.000	83.539	0.001	I
東鳥取1号橋	阪南市尾崎	RC橋_RC中実床版	東鳥取2号線	65	0.000	85.150	0.001	I
尾崎3号橋	阪南市尾崎	RC橋_RC中実床版	尾崎35号線	66	0.000	87.186	0.001	I
西鳥取10号橋	阪南市鳥取	RC橋_RC中実床版	市道西鳥取51号線	67	0.000	87.887	0.001	I
9号橋	阪南市尾崎	RC橋_ラーメン橋	尾崎81号線	68	0.000	88.789	0.001	I
西鳥取8号橋	阪南市鳥取	RC橋_RC溝橋	市道西鳥取30号線	69	0.000	92.014	0.001	I
尾崎5号橋	阪南市尾崎	RC橋_ラーメン橋	尾崎36号線	70	0.000	94.786	0.001	I
東鳥取3号橋	阪南市下出	RC橋_RC中実床版	東鳥取19号線	71	0.000	93.986	0.001	I
下莊3号橋	阪南市貝掛	RC橋_RC T桁	市道下荘4号線	72	0.000	94.172	0.001	I
尾崎1号橋	阪南市尾崎	RC橋_RC中実床版	尾崎26号線	73	0.000	96.095	0.001	I
尾崎2号橋	阪南市尾崎	石橋_その他(石橋)	尾崎26号線	74				I

- ※黄色いセルは補修済み、もしくは補修中
- ※尾崎2号橋は石橋のため、経過観察橋梁とし、評価値を算出する橋梁から除外する。
- ※評価値=諸元重要度÷総合評価値。諸元重要度と総合評価値の表で優先順位を決定するが、 同ランクの場合は評価値の降順で優先順位を決定する。
- ※表の着色は優先度評価の図に対応

6. 個別施設の状態等

表3 点検結果総括表

	判定区分 I	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分IV
直近点検結果	61橋	7橋	6橋	0橋
点検後補修橋梁	0橋	0橋	2橋	0橋
計画時の健全度	63橋	7橋	4橋	0橋

7. 対策内容と実施時期

計画更新モデルでの2025年から2034年までの直近10年間の修繕計画を下記に示す。

表4 橋梁別対策表 (1/3)

凡例: ◆ 対策を実施すべき時期を示す。

						対策の内容・時期										
	道路		橋長	架設	供用	最新						谷・時	期	I		
橋梁名	種別	路線名	(m)	年度	年数	点検 年次	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)
東打合橋	市道	東島取67号線	23 5	1954	71	R3	(117)	点検	(113)	(1(10)	(111)	設計	点検	(N14)	(113)	(1(10)
大口橋		東鳥取68号線		1968	57	R3		点検					点検	伸縮装置	₫:取替(始	台端側)等
								点検					点検	設計		-
久保田橋 ————————————————————————————————————	市追	東鳥取109号線	28. 8	1993	32	R3		点検					点検	伸縮装置	<u>∄∶取替(始</u> 設計	台端側)等
英砥川橋 ———	市道	自然田石田線	19. 8	1923	102	R3		点検					点検			
山中川橋	市道	東鳥取258号	24. 6	1956	69	R3									=n=⊥	
西打合橋	市道	東鳥取63号線	24. 2	1957	68	R3			建装塗り替	え等			点検		設計	
明心寺橋	市道	東鳥取63号線	25. 8	1969	56	R3		点検	設計		床版∶床版	ひびわれ	点検 ^{補修工法}	等		
下段橋	市道	東鳥取63号線	28. 8	1970	55	R3		点検					点検			
下滑石田橋	市道	東鳥取122号線	23. 1	1955	70	R3		点検					点検·設計 主部材:	設計	₩維接着T	(2層)等
自然橋	市道	尾崎自然田線	20. 5	1954	71	R3		点検					点検	設計		★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
山中橋	市道	東鳥取128号線	40	1958	67	R3		点検					点検	甲帕表面	■・取省 (宛	設計
八王子橋	市道	東鳥取194号線	14. 5	1966	59	R3		点検					点検	設計		←→
—————————————————————————————————————	市道	東鳥取193号線	17. 1	1972	53	R3		点検					点検	材:主桁ひ 設計	びわれ補	修工法 等
新衛橋	市道	東鳥取180号線	53	1971	54	R3	←→	点検					点検	:	主部材:3和	種ケレンb 等
向田橋		東鳥取195号線		1972	53	R3	主部材∶塗	_{装塗り替} 点検	え 等				点検			
						R3		点検		設計	設計	設計	点検			
阪南丘陵道路横断橋		桃の木台73号線		1996	29			点検	設計			主部材∶主	_{桁ひびわ} 点検	れ補修工法	去等	
鳥居前橋 		東鳥取130号線		1981	44	R3		点検	主部材∶塗	・ 装塗り替え	- 鞍承本	・ 体∶支承取	^{替え(始端} 点検	側)等	設計	
3 号橋	市道	東鳥取258号線	6	1975	50	R3		点検				設計	点検		12.11	
東鳥取6号橋	市道	東鳥取139号線	2. 4	1975	50	R3			豊ル 幸工			DX DI	主部	◆ 材∶主桁ひ	びわれ補	修工法 等
東鳥取10号橋	市道	東鳥取194号線	2. 2	1975	50	R3		点検	設計		主部材:主	析ひびわ		去等		
山中橋	市道	東鳥取24号線	11. 5	1958	67	R3		点検				設計		◆ →・材∶主桁ひ	びわれ補	修工法 等
東鳥取9号橋	市道	東鳥取194号線	2. 2	1975	50	R3		点検	設計		★ 計 注 部 材 : 主 部 材 : 主	析炭素繊	点検 維接着工	(2層)等		
平野橋	市道	東鳥取66号線	42. 1	1956	69	R3		点検					点検			
1号橋	市道	石田桑畑線	2. 6	1975	50	R5			点検					点検		
亀川橋	市道	東鳥取144号線	12. 6	1967	58	R5			点検					点検		
桐川橋	市道	東鳥取144号線	8. 5	1967	58	R5			点検					点検		
温泉口橋	市道	東鳥取144号線	8. 7	1993	32	R5			点検					点検		
	1	1	l				1	l	1	1	1	1	1	1	l	L

表4 橋梁別対策表 (2/3)

凡例: ◆ → 対策を実施すべき時期を示す。

	バ例: ▼ → 対策の内容・時期 対策の内容・時期												-3.70			
橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新点検	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
	1277		()	1/2	122	年次	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)	(R14)	(R15)	(R16)
東鳥取12号橋	市道	東鳥取246号線	12. 1	1990	35	R5			設計 点検		◆ 一 ト 伸縮装置	取替(始如	制)等	点検		
万葉橋	市道	下莊133号線	11. 7	1999	26	R5			点検					点検		
上茶屋川橋	市道	下荘133号線	12. 8	1993	32	R5			点検					点検		
8号橋	市道	下莊132号線	10. 4	1984	41	R5			点検					点検		
下荘5号橋	市道	下荘25号線	5	1984	41	R5			点検					点検		
上万葉橋	市道	下荘27号線	12	1997	28	R5			点検					点検		
遊来橋	市道	下荘72号線	9. 2	1934	91	R5			点検					点検		
下荘11号橋	市道	下荘74号線	9	1975	50	R5			点検					点検		
飯ノ峰川橋	市道	下荘29号線	12. 4	1995	30	R5			点検					点検		
みずき橋	市道	桃の木台専用自歩道東西線	19. 8	1997	28	R5			点検					点検		
箱作駅前歩道橋	市道	下荘147号線	84	2006	19	R5			点検					点検		
善太夫橋	市道	下荘135号線	15. 8	1993	32	R5			点検					点検		
茶屋橋	市道	下莊24号線	15. 5	1994	31	R5			点検					点検		
宗福寺橋	市道	下莊51号線	15. 7	1997	28	R5			点検					点検		
下荘8号橋	市道	下荘52号線	14. 8	1997	28	R5			点検					点検		
明治橋	市道	下荘53号線	14. 8	1997	28	R5			点検					点検		
塔の上橋	市道	下荘61号線	17. 6	1991	34	R5			点検					点検		
平成橋	市道	箱作駅前線	30. 5	1995	30	R5			点検					点検		
さつき橋	市道	東鳥取222号線	18. 6	1989	36	R5			点検					点検		
尾崎1号橋	市道	尾崎26号線	2. 9	1965	60	R5			点検					点検		
永久橋	市道	東鳥取109号線	20. 5	1958	67	R5			点検					点検		
西鳥取12号橋	市道	西鳥取75号線	6. 4	2017	8	R5			点検					点検		
尾崎2号橋	市道	尾崎26号線	2. 3	1965	60	R5			点検					点検		
尾崎3号橋	市道	尾崎35号線	2. 3	1965	60	R5			点検					点検		
尾崎4号橋	市道	尾崎35号線	2. 6	1965	60	R5			点検					点検		
尾崎5号橋	市道	尾崎36号線	2. 6	1965	60	R5			点検					点検		
尾崎6号橋	市道	尾崎61号線	2	1965	60	R5			点検					点検		
9号橋	市道	尾崎81号線	2. 4	1975	50	R5			点検					点検		
東鳥取1号橋	市道	東鳥取2号線	4. 8	1965	60	R5			点検					点検		

表4 橋梁別対策表 (3/3)

凡例: ◆ → 対策を実施すべき時期を示す。

										נילו ט' ל	: •	אנא	ドセ 天川	9 , .	時期を	ハ9。
	/ 大 LIP		↓ ₹ =	#n =n	ш	最新		T		交	策の内	容・時	期			
橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	点検	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
						4次	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)	(R14)	(R15)	(R16)
東鳥取2号橋	市道	東鳥取18号線	2. 4	1965	60	R5			点検					点検		
東鳥取3号橋	市道	東鳥取19号線	2. 7	1965	60	R5			点検					点検		
金剛寺橋	市道	市道貝掛丘陵線	21. 7	1987	38	R5				点検					点検	
下川橋	市道	市道石田桑畑線	10. 6	1975	50	R5				点検					点検	
2号橋	市道	市道石田桑畑線	13	1975	50	R5				点検					点検	
池詰町田橋	市道	市道西鳥取27号線	6. 1	1971	54	R5		設計 主部材::	主桁ひびれ	点検 れ補修エ	法&主桁断	f面修復工	&主桁炭素	繊維接着	点検 エ(2層)&	足場工 等
西鳥取7号橋	市道	市道西鳥取29号線	3. 4	1989	36	R5				点検					点検	
西鳥取8号橋	市道	市道西鳥取30号線	2. 2	1989	36	R5				点検					点検	
西鳥取9号橋	市道	市道西鳥取49号線	4. 2	1983	42	R5				点検			主部	設計 材:主桁ひ	点検 びわれ補(◆
西鳥取10号橋	市道	市道西鳥取51号線	4. 2	1975	50	R5				点検					点検	
防潮水門橋	市道	市道西鳥取57号線	5. 2	1975	50	R5				点検					点検	
西鳥取13号橋	市道	市道西鳥取85号線	4	1975	50	R5				点検					点検	
4号橋	市道	市道石田箱作線	12	1975	50	R5				点検					点検	
下荘1号橋	市道	市道下荘1号線	4	1975	50	R5				点検					点検	
下莊2号橋	市道	市道下荘1号線	7	1975	50	R5				点検					点検	
下莊3号橋	市道	市道下荘4号線	4	1975	50	R5				点検					点検	
10号橋	市道	市道東鳥取215号線	3. 5	1986	39	R5				点検					点検	
光陽台歩道橋	光陽台歩道橋 市道 市道西鳥取135号線 12.1 1993 32 R								設計	点検	床版∶3種/	rレンa 等			点検・設計	
	補修費 (千円)									25, 753	33, 075	32, 412	12, 056	32, 759	8, 269	32, 717
	ļ	点検費 (千円)					0	20, 944	0	24, 823	0	0	20, 944	0	24, 823	0
	Ī	設計費 (千円)						5, 151	6, 615	6, 482	2, 411	6, 552	1, 654	6, 542	6, 402	2, 411
	í	合計 (千円)					80, 001	146, 095	76, 615	57, 058	35, 486	38, 964	34, 654	39, 301	39, 494	35, 128

8. 対策費用

表4-5 年度別事業費

										(百万	円)
年	度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
4	及	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)	(R14)	(R15)	(R16)
概算	算費用	80	146	77	57	36	39	35	40	40	36

※百万円単位に切り上げ

9. 橋梁長寿命化修繕計画における効果

長寿命化修繕計画を策定する74橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型が27億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が16億円となり、コスト縮減効果は11億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。

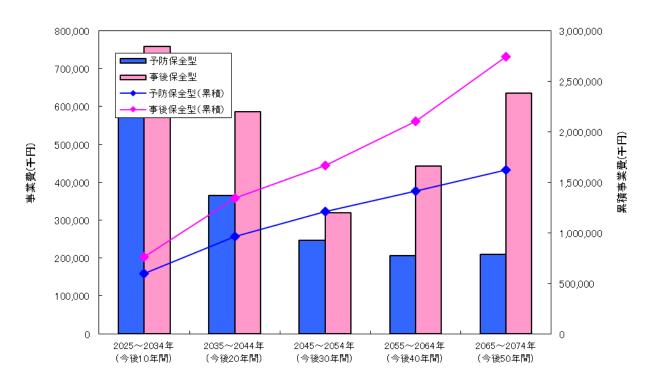


図4-5 対策比較グラフ

11. 今後の取り組み

橋梁長寿命化修繕計画は、今後50年という長期間にわたる継続的な事業を想定したものです。 現在の技術水準や点検精度を踏まえると、将来の予測精度は確実なものではありません。

また、今後の交通量変動や技術基準の変化による各橋梁に求められる必要性能の将来予測は困難です。しかしながら道路の安全・安心の信頼性確保を図る上で、以下の取り組みの実施及び課題の解決が必要です。

● 継続的かつ詳細な橋梁点検の実施

・定期点検の実施及び点検データの管理

阪南市道路管理者が管理する全ての道路橋について、道路法に基づき5年に1度の近接 目視点検を行います。点検結果はデータベースとして一元管理し、過去の点検データと比較 可能な状態で蓄積します。

点検によりその時点の健全度を把握し、過去の点検結果と比較・照合することで、将来の 劣化進行をより正確に予測でき、予測しない大規模な緊急補修や通行止め等の不測の事態を 避けることができます。

・定期点検の補完

5年間隔で行う定期点検を補完するため、道路管理者による日常的なパトロールや清掃活動に合わせて、橋梁の状態を把握します。

最新の点検結果で評価がⅢの橋梁については少なくとも年1回は道路管理者により損傷の 進行を確認します。

● 橋梁長寿命化修繕計画の更新

橋梁の維持管理については新技術の開発も目覚しく、技術基準の改定により劣化予測や維持管理費用の見直し・変更が生じることが予想されます。

維持管理計画では、PDCA (plan-do-check-action) サイクルを行うことで、より効率的でかつ合理的な計画になります。

橋梁長寿命化修繕計画も同様で、持続的に橋梁の状況を確認し、計画データに反映させる ことで、より現実に即した計画に更新する必要があります。

本市においても、今回の更新と同様に5年ごとの計画の更新を行います。

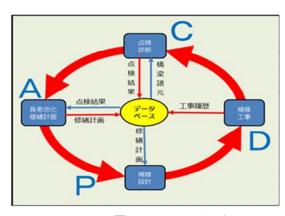


図4-7 PDCAサイクル

● 品質確保への取り組み

本市ではこれまで道路の持続した安全・安心の信頼性の確保に取り組み、前計画に基づいた対策優先度の高いⅢ判定の2橋梁(山中川橋、平野橋)について、修繕工事を実施し予防保全型への移行を進めています。

橋梁長寿命化修繕計画は、劣化した橋梁の補修工事が遺漏なく適切な時期に実施されることを前提としています。そのため、計画の運用においては設計及び工事の適確な品質の確保が必要とされます。しかしながら予防保全型の橋梁補修工事について本市では実績が少なく、橋梁の維持修繕に精通した職員、設計コンサルタント、施工業者が不足しているのが現状であり、人材の確保、育成が課題となっております。これらの課題を解決するため、下記の取り組みを進めます。

- ・橋梁の点検や維持補修に関する研修への参加
- ・国土交通省や大阪府などへの技術的助言の要請
- ・補修工法についてメーカーや施工業者への聞き取りや試験施工の依頼
- ・国土交通省で推進しているインフラ分野のDX導入を検討

● 費用縮減への取り組み

事業の実施に当たり、修繕工事については従来工法のみではなく新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討を行います。計画的な修繕工事を進めるにあたり、今後、修繕工事を予定している橋梁については、新技術活用の検討を行い、積極的に新技術を取り入れ、工期やコストなどの総合的な検討を行うことで、約1割(400万円/年)の費用縮減を目指します。

また、次回令和8年度から予定している施設点検においても、ドローン点検や画像解析計測などの新技術を積極的に活用し、約120万円/5年の費用縮減や事業の効率化を図りませ

加えて5年に1回の定期点検に併せて橋梁や横断歩道橋の適正な配置についての調査を行い、今後の周辺状況や利用調査を基に、令和15年度までに1橋程度の集約化・撤去をを検討することで、更新時期までに必要となるコストの縮減(約100万円)を目指します。なお、橋梁によっては予防保全との費用対効果、安全性、技術の伝承の観点等から総合的に判断し、有利な場合は橋梁の更新も検討します。

12. 意見を聴取した学識経験者等

大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 橋梁工学分野 山口 隆司 教授